京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行兼編輯人　[illegible]
京城新報社
仁川支局
東京支局

●朝鮮東海岸魚族調査（三）

帝國大學農科大學助手　脇谷洋次郎君談

朝鮮東海岸に於ける水族の分布中有望なるもの二三を列擧すれば

一、スルメ　鬱陵島のスルメは年額十五六萬圓を產し此地以外朝鮮に於ては產所なきが如く思惟せられ居たるも元山附近の調査中最も近き海岸に張れる角網に其都度二三百のスルメイカの捕獲せらるゝを見たり由來イカ其のものは爾かく近き海岸に於て漁り得らるべきものに非ず必ずや一二里の沖に出漁するを要するものなるに拘はらず角網に於てすら尚ほ捕獲せらるゝ狀態よりすれば適漁海面には必定無數の大群あるべけれど且つ其の品位は二番スルメと稱する鯣イカに屬し又其のスルメは常に確實なる相場を有し價格變動の差少く無限の販路を有するを以て之が漁獲は頗る有利なるべく將來有望の產出を併せば以外に莫大の產額に上るべし

二、カキ　北韓のカキは有名なるものに屬し肥大にして徑一尺を超ゆるものは珍らしからず其の品位も內地廣島產の眞カキに等しく年々元山灣に於ける產額三十萬斤を下らず松田灣（元山附近の小灣）に於けるだも五六萬圓を產せり近年過漁の形勢あれば今に於て補殖の法を講ぜざれば遂に產出を減ずる恐なしとせず

三、鮭　は北海道に及ばずと雖も其產決して少なからず且つ其の種類も數種あることを明かにせり一般に知らるゝ如く鮭は其の產卵期に當て河川に溯上するを捕獲するものなるも地質上豆滿江を始め北韓一帶の河床が砂礫なる爲め砂中に產卵すると雖も雨水一度下れば忽ちにして推し流され或は深く砂中に埋まり遂に孵化するに適せざるより其の蕃殖力の少きは明かに不漁の原因なるを知るべく然れども鮭の棲息發育するは河川に非ずして海中なり而して其の水溫其他の關係が最も鮭の棲息發育に適する海面なるを以て一面人工孵化養殖の法を講じ以て自然の障害を補はゞ將來頗ぶる有望なるべし（未完）

●滿洲の石鹼業

大連に於て邦人の石鹼業を開始したるは明治四十年以來のことなるが今に三人の製造者あるのみ未だ一箇の製造業として認むるに至らず然れども滿洲は石鹼の原料たる豆油潤澤なるが故に內地製品に比して餘程低廉に販賣するを得べく殊に支那人向きのものを製造するに便宜を有するを以て將來有望の工業なるべく思はる而して從來滿洲に行はるゝ石鹼は日本品多くして大連より輸入せられ歐米品は小額にして之れは營口より輸入せらる而して近來益々日本品の需用多きに至れり之れは價格の低廉なると品質の多少粗惡なるは他の化粧品の之を補ふものあるに至りたる結果なり而して支那人は總じて匂入りを好む傾向あり都の花石鹼など賣れ行き良し斯く日本品の賣行き良きを以て滿洲の石鹼製造業者は主として日本品と競爭の態度を取り目下稍其目的を達するに至りたり然れども之れとても未だ試驗的に過ぎず更に進んで歐米品を驅逐するが如きは今後尚數年を要す可しと云ふ斯くて滿洲の石鹼製造業者は明年邊りより漸次業務を擴張する計畫のよしなるが其の最も心配する所は販路開拓の方法なり今日輸入石鹼の三分の二は支那人を顧客とするが支那人は容易に其の慣習を破ることなきを以て其の嗜好を移すは容易にあらざるも其の品質を精撰し久しきに亘りて勉勵するに於ては必ずしも不可能にはあらざる見込なりと云ふ

▲萬國　阿片會議委員會は八ヶ條の決議案を起草し大綱は先年上海の決議に

▲準據　し葡國の意向を尊び澳門の利益に鑑み阿片と原料を分ち取扱ふに在

外事一束

▲伊國　三國同盟を脫すと風說起り伊宰相匈牙利新聞に於て風說の無根を取消

▲ダ海　峽封鎖に對し露國其黑海艦隊に限り開放自由航行を許せと提議すと

▲波斯　の排英的感情益昂まり伴侶等英國の僞善を難じ頻に露國を援助すと

▲獨逸　議會十二月五日を以て日獨通商條約同關稅條約を通過したりと云ふ

▲土國　政府列國に對し懇訴して[illegible]波斯をして獨立せしめ之を尊重せよと

▲革命　黨マゼドニアに起り寺院を爆破し死者十二名負傷者十三名を出せり

▲タ氏　教書を議會に下す例年に比し簡單なれど其內容はトラスト征伐に在り

▲今後　トラストを組織する者は必ず中央政府の許可を受くべしと言ふに在

文苑

●折にふれて

松琴生

吹く風に落る木の葉のさそはれてひとり文よむ窓をうつなり
○
白ひげの翁發句よむ爐開きや床には若き水仙の花
○
藁打ちて草鞋をつくる夜の更けて細きともしのぢゝと音する
○
ほすゝきの霜にたわみて力なく立てる我門訪ふ人もなし
○
竹の葉にたまりし雪を小雀の羽に散らしてごふ晨たかな

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者九皐館去留



一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

梁川庄八

第五十三回　小金井蘆洲演

庄八は語を繼いで　庄「本國出立以來宿々の旅舍に奧州仙臺破牢の浪士梁川庄八正國、と云ふ標札を掲げて居る次第で、明日にも本國より捕下が參つて捕へられるも計られず、其曉には屑よく歸國致して處刑に就くの決心なれば、若し其節當家の祿を食んで居つては自然御當家の御迷惑にも相成り、自分も亦或は未練の心の出まじき者でもなし右樣の次第ゆへ甚だ恐入りますが、御召抱への儀は御辭退申上ます併し當國に逗留中萬一御當家に事あり候節は一臂の力を振つて此御厚志に酬ゆる所存でござる』と身の來歷を語つて辭退を致しました、聽いて居た面々、まず〳〵感心をした、勇士の一言出ては驪馬も追ふ事能はず、無理に勸めた所で云た事を枉ぐるやうな人ではないと見て取た者ですから大『左樣な儀で御座るならば強て御推擧致す譯にも參らぬ併し主君の御考も有之事と存ずるゆへ兎に角今日は旅宿へ下つて追て申上る事も御座ろうゆへ御待ち下さるやう』○『委細承知致しました』と一禮を述べて、上州屋藤兵衞を伴れて立戻りました『藤』『エー旦那樣如何云ふ御用でございましたか』○『いや格別の事でもない併し里見家は武道堅固の御名家だ何れ事ある時には、譽れを揚ぐるであろう』『藤』『ヘー夫丈の御用でございましたか』○『いや只今申たのは御用ぢやない今日の御用の次第は追て判るであろう』と云たきり何とも申ませぬが上州屋藤兵衞も内々心配をして庄八の容子を見て居ると、何も變つた事もないので、大に安心して居りました、然る所其翌々日又々流山將監の方から最と叮嚀に梁川庄八を招きに參りました、庄八迎の者に伴はれて行くと、將監の申まするには『將』昨日其許の御返答の次第を主君に申上ましたる所、殿も是非なき事さ御斷念遊ばしましたが、せめて其許の當地逗留中家中の子弟に劍道の御教授を願たいとの御沙汰、此儀を御承知下さるやう、詰り當家へ貴殿を御雇い申のでござる、何時たりとも御暇に依て雇を解くにより、其點には御疑念なく、御教授下さらば千萬辱ない如何でござる」との言葉に梁川も是には辭退が出來ません　庄「折角の御懇望委細承知仕りました、自分心得居りますだけは吝ならず御教授致すでござる」と快諾致しました、扨是より梁川庄八は改めて、里見家の雇となりましたが、町方に居つて藩中の子弟に稽古をすると云譯には行きませぬ、幸ひ大番町と云ふ所に家老流山將監の拘屋敷があるので其處へ引移る事になりました、里見侯へ謁見と云事になつて召出されまして御目通り、里見安房守殿熟々庄八の人となりを御覽なされた、所が其相貌と云ひ骨格と云ひ、如何にも逞しく一見鬼神をも取拉ぐべき有態、威儀萬端を心得て、動作進退凡て法に嵌ふて聊かも惡怯れたる有樣がございませぬ誰が見ても一目見れば智勇兼備の武夫たることは分ります、里見侯も大いに其人と爲りを慕はしう存ぜられて、別室に於て酒肴を振舞ひ、其上引出物として金子と御召物を添へて下された、庄八は御謁見上々の首尾にて御前を退く、一方に於ては北浦新吾外二名は先非後悔の廉を以て、差控へ御免に相成つたものですから、卒先して庄八の門に入り日夜怠らず、劍法を學んで居ります、庄八は劍道は申すと及ばず、弓術槍劍の道にもなか〳〵達して居ります、左れば各々好む所に從つて槍術を學ぶ者もあれば、馬術を學ぶ者もあり乃至は柔術を専らとする者もあります是れよりして里見家一般の若侍、一層武藝が上達致しましたるのみならず、町方でも寄ると觸ると武術の話で持切りです、一方には文を讀み一方には武を講ずると云ふ勢き、却々盛んな者でござります、御話變つて梁川庄八は故國を出てより星霜茲に三個年、彼の仙臺なる茂庭主水は、庄八には破牢して立退かれ、國の者には笑はれ親の仇は討てず、怨恨心魂に徹して遣る方なく日夜怏々として樂しみませぬ、三箇年の其間庄八の行衞は更に知れませんでしたが、近頃風の便りに聞けば、房州館山にて劍術の教導をして居ると云ふ斯くと聞くより主水は是は容易ならぬ事なり、兎も角も家來を呼出して評議に及ばんとて、杉浦要助、内山孝吉、南八郎、望月大藏、此面々を呼出しました



東京電報

▲**軍隊增派說** 陸軍省方面より第三師團司令部に對し或る重大の內訓ありとの說あり又一說には長江減水期となり艦艇の航行不可能となれる[illegible]陸戰隊と交代せしめつゝあれば我も列國と均衡を保つ爲め中國中部に步兵○○一個聯隊を派遣する事に決し其の編成は獨立隊にして聯隊長司令官となり[illegible]

▲**豫算は內示せず** 一般會計豫算は全部査定濟となり特別會計豫算も不日終了の筈なるが豫算內示は豫算案に對する說明は之を見合せ豫算配付前に其綱目を公表さるべし

▲**大藏證券償還** 十一日償還期限なる一般會計に屬する大藏省證券二千萬圓は[illegible]日全部之を償却し同時に同一の大藏省證券を發行すべし

▲**伏見宮御出發** 在盤谷伊吹艦長發 伏見宮博恭王殿下には九日午後伊吹に御乘艦十日午前馬公に向け御出發あらせられたり

▲**媾和使派遣** 在北京伊集院公使發 媾和使節派遣に關しては唐紹怡を全權大臣と爲す外楊士琦、嚴修二人を參與大臣とし之に尙各省出身の各部丞參其他官吏を參議員として同行派遣せしむべし其人撰中福建陳寶琛外十二名既に決定したるものゝ如く唐紹怡以下重なる者は八日袁世凱と會見打合を爲し九日特別列車にて武昌に赴きたり

▲**北京の小騷亂** 九日夜北京の貧民等討革軍の召集に應じ出征の前に旅費給與の件より不平を唱へ騷亂を惹起し禁衞軍發砲之を鎭定したるが一時は大に混雜せり

▲**濤貝勒の罷免** 禁衞大臣濤貝勒罷免され攝政王の勢力全く凋落し中央軍人間に一大異動ありたり

▲**媾和前途悲觀** 北京 滿朝は東三省か或は蒙古に退きて其命脈を保つ手段を採らざる限りは革軍との媾和覺束なからむと觀測さる

▲**休戰條約再訂** 九日更に十五日間の休戰條約官革兩軍の間に調印せらる但し武漢方面に限らる

▲**陸軍服役條例** 十一日勅令を以て朝鮮其他陸軍々人の服役事務に關する件公布せられ其內朝鮮にありては憲兵隊長及憲兵分隊長をして事務の一部を擔當せしむる事を得とあり

上海電報

▲**紅十字病院** 漢口の官軍及び革軍共戰死者は戰鬪休止の期間內に於て收容し[illegible]

北京特電

▲**革軍の講和使** 伍廷芳は[illegible]革軍の講和使として武昌に赴く

▲**浙江軍紙幣發行** 浙江軍政府は軍用紙幣五十萬兩を十二月六日發行九日[illegible]

▲**濤貝勒と蔭昌** 蔭昌は濤貝勒と結び[illegible]對抗の地步を占めんとしつゝあり陝西省西安附近の匪徒は扶淸洋殺の旗を翻へし滿漢勦回外國人の論なく各國人殺戮を擅にし到る處爭奪をなし居れり特に獨逸人の被害甚しと云ふ

新報

●**水產組合法の實施期** 漁業令の實施と共に水產組合法及漁業組合法制定發布さるゝ筈なるが兩組合法とも目下參事官に於て審議中なるが水產組合法のみは多分明年一月より實施を見るべしと云ふ

●**商議聯合會終了** 去る五日より東京にて開會の全國商業會議所聯合會は十日を以て終了せしが左記朝鮮側より提出したるもの或は他會議所より提議せし諸問題は財政緊縮方針の旨を體し請願することを可成見合す事となりしも鮮米移出入稅撤廢問題は是非共成功せしむることに努むべく神戶大阪東京京都長崎釜山京城の七會議所を委員に擧げたりと

▲鮮米及び雜穀輸入稅撤廢に關する件▲朝鮮に於ける穀物輸出及び移出撤廢に關する建議の件▲朝鮮鐵道貨客賃率低減請願の件▲裏日本と北滿洲を連絡する航路及び鐵道の急設請願の件▲朝鮮勸業博覽會を京城に開催することを其筋に建議する事以上各案の實行を促すの件（會議所朝鮮聯合會提出）▲朝鮮に於ける商業會議所法發布請願の件（同上）▲朝鮮に於ける產業組合及同業組合に關する法規發布請願の件（仁川會議所提出）▲平元鐵道速成請願の件（元山會議所提出）▲朝鮮東海岸諸港と日本海沿岸諸港との間に循環航路開始に關する請願の件（仝會議所提出）

●**十一月中京城商況** [illegible]し綿布石油燐寸海產物雜貨物類其他重要品の賣行頗る良好なるに至れり又た淸國動亂は對淸貿易を杜絕せしめ輸入絹布の昂騰を示し直接關係ある商人は多少の打擊を蒙らざるにはあらざれど全般に渉りては何等の痛痒を感ぜず唯前途に幾分の危惧心を抱き多少警戒の態度を採り居るものゝ如し要するに一般商況の大勢は前月に比しては勿論之れを昨年の同期に比するもより以上の好況を呈し尙ほ前途頗る有望なるが如しと

●**雲山金鑛絕脈** 年々巨額の金を產生し來れる雲山金鑛は既に鑛脈絕え前途の見込無き爲め同地在留米國人の一部は歸國の途に就きて殘留せるは極めて少數の人にて從前の如き大規模の設備を以てしては到底收支償ふべくもあらざるの狀態に陷れりと云ふ

●**十一月中京城金融** …京城日本人商業會議所調査… 十一月は結氷期を前に控へ居ることゝて湖南鐵道工事京義線改良工事其他各種建築工事繁忙を極め又た新米買出及び地方重要品の大口取引其他季節品仕入土地買收等に要する資金の需要頗る多額に上り且つ鮮人側に於ても納稅の關係上地方に對し資金の放出せられたるもの多く爲めに京城金融市場は前月以上の繁忙を致せり淸國動亂は未だ同月に於ては直接の影響を京城金融市場に與へざるものゝ如し即ち對淸貿易業者は擾亂後淸人より從來の延取引を打破され現金取引にあらざれば商談纏らざることゝなり其の加ふるに以前に於ける貸附金の督促嚴重を極め其の支拂を怠るものに對しては執達吏を差向ける等極端なる手段を行ふを以て其の關係ある鮮人商人は倒產の已むなきに至りし者二三を出せるも未だ全般に及ぼす程の影響は之れを認むるを得ず淸國事變の影響は多く[illegible]して警戒的に資金を[illegible]前に於ける貿易品の[illegible]綿布綿布其他二三重[illegible]を蒙れるも其の打擊[illegible]のにして未だ金融市[illegible]多額に達し居らざる[illegible]約を結びたる此等商[illegible]して破約相踵ぐが故[illegible]は次第に增加すべく[illegible]心すべきものなきに[illegible]革命亂の爲めに一時[illegible]れりとはいへ淸人が[illegible]を廢するの道理はあ[illegible]に騷亂の經過と共に[illegible]復し商業の通路從つ[illegible]ば抑へられたる需求[illegible]易の復活を見るべき[illegible]を要するに京城金融界の大勢は結氷期切迫と大節季をひかへ居る事とて貸金の需要著しく增加し市場一般に緊縮を來し金利も朝鮮銀行を始め二三の銀行も二厘方引上ぐるに至り其他に於ても頗る手堅く十二月に至り更に幾分の引上を見るならん

●**九日の民會評事** 既報の如く京城民會は九日午後四時より民團役所樓上に於て開會し屠場經營及び元龍山病院買收の件に就き討議したるが結局原案通り可決し午後七時閉會したり

●**仁川電氣の新計畫** 仁川電氣會社にては既報の如く電燈料の値下斷行以來申込者漸次增加の趨勢なるが尙時勢の進運に供ひ各家庭に於て火氣を用ひて要辨せる機械器具類には一切電氣を應用せしむべき計畫にて既に電氣ワツチ電氣爐電氣竈等着荷せしを以て目下試驗中なるが該事業を普及するには電氣を最も廉價にて供給する必要ありとて大に考究中なりと云ふ

●**通俗教育朝鮮支會** 內田[illegible]中島上田水町諸博士を顧問として丹羽子爵委員長として尙ほ幾多諸名士を商議員とし明治三十四年以來國家教育と社會教育とを融和し娛樂の傍ら兒童品性の修養に資せんことを以て目的とし雜誌刊行の外時々お伽芝居活動寫眞其他の演藝會を開催し東都に本部を各重要の地に於て支部を設け家庭教育上信用と好評を博しつゝある通俗教育會にては這回京城に同會朝鮮總支會を設くることゝなり其の事務所を京城圖書館內に置き古城民長會頭に兪吉濬副會頭山口商業會議所書記長及び國井民團學務主任等理事として活動することゝなり目下警務總監部へ設立許可の請願中なりと

●**新年名刺交換會** 例年の如く來春元旦も新年名刺交換會を開催することに決定せるが會場は民團立高等女學校舍內にて會費一人五十錢との事なり

●**政務總監の登廳** 微恙の爲め引籠り靜養中なりし山縣政務總監は十一日より登廳したり

●**外波少將の出發** 元總督府武官海軍少將外波內藏吉氏は十二日午前九時十分南大門驛發赴任すべし

●**高等法院長等の歸任** 司法事務視察のため臺灣に出張中の渡邊高等法院長國分高等法院檢事長の一行は十二日午後八時廿分南大門着列車にて歸任すべし

●朝鮮の靜養地（一）

…總督府醫院森安博士談…

朝鮮に於ける轉地療養地踏査の爲め十一月下旬南鮮地方に出張し十二月初旬踏査を了へて歸京したる森安博士の談に曰く予は從來朝鮮に於ける內地人の患者及び病後の靜養者が朝鮮に適當なる轉地療養地なきため一々內地の溫泉場又は海濱の靜養地に赴くを遺憾に思へり成程朝鮮は四邊の風物殺風景を極め且つ氣候乾燥せりとはいへ又是れ一個の靜養地なきに非ず依つて予は豫て之れが靜養地の踏査を企て居りしも職務多忙のため思ひながら其の意を果さず辛うして今日にいたり予の見て以て適當とさせる三個所の靜養地に就て之れが大体の踏査を遂ぐるを得たり三個所の靜養地とは他なし乃ち馬山、溫陽、東萊是れなり而して

▲**馬山は最も優秀**なる靜養地として右三個所中の首位に推稱すべし蓋し馬山の地勢たる北に山を負ひ南は海に面し從つて風少なく氣候溫暖なり若し之れを內地の夫れに譬ふれば朝鮮に於ける茅ヶ崎ともいふべき乎而して靜養者にあつては單に其の地勢の優秀なるのみを以て足れりとせず精神の療養の之れに伴ひ滯在中の無聊を慰むるため自然に於ける四圍の情勢が自つと靜養者の精神を慰むるの個所たるを要す馬山は此の點に於て先づ完全に近しといふべし夏は海濱に於て貝拾をなすべく又は船を泛べて綸を垂るべく秋は山に入つて茸狩りをなすべく又は銃を肩にして獵をも試むべく其の他四季の折々につれて靜養者の精神を慰むるに足るもの多々あり斯かる個所なるを以て從來流行病とては少なく民團の統計に依れば之れが流行病の數は今日迄最下位にありとのことなり而して肺病患者の如きは最も適當なる靜養地ならん

●**獨國總領事の着任** 先般新に京城駐在を命ぜられたる獨國總領事ルースー氏は十二日奉天より着任の筈なり

●**新舊武官の事務引繼** 既記の如く山縣新總督府武官は九日着任に付十日總督府に於て新舊兩少將の事務引繼を了せりと

●**深水副會頭の歸鮮** 日本全國商業會議所聯合會へ出席の爲め東上中なる深水副會頭は十日閉會したるを以て十二日東京出發歸鮮の途に就くべしと

●**慶北警務部長入京** 新任慶尙北道警務部長笠岡少佐は十日前任地熊本縣より入京したり

●**電話加入者の注意** 電話料及び市外通話料は自今加入者の便宜を圖り最寄郵便所へ納付し得る事に其筋にて定められしが納付告知書の期限を經過したるものにありては郵便所に於て取扱はず總て京城郵便局にて徵收すべきに付加入者は注意すべしと

花山森林に關する實地調査報告

特派記者

由來我半島は森林に乏し、從つて現存する森林の價値は內地及び他國のソレに比して其貴きこと幾倍なるを知らず、故に世人は森林拂下げを以て特種有利の事業なりと解し爭つて之れに赴くの風あり、然れども可悲我半島に於ける森林拂下げは其事業が特種有利なるが如く見ゆるだけソレだけ可恐亦可厭醜歷史を有す、彼の莞島及び鳳山森林拂下げの如き乃ち其實例なり。今や半島の寶物ぞと稱されたる花山大森林の拂下げ問題突如として起り、世人をして第二莞島事件の起りたるが如き感を抱かしむ、此時此際本紙は同問題の眞相を明かにするの必要ありと信じ、十日本紙記者二名を花山に特派し伐木の狀況及び拂下げ問題の起りたる原因を調査せしむ、左に揭ぐるは乃ち特派記者の調査報告なり。

▲**本紙記者二名** は十二月十日花山森林に關する智識を有し、兼ねて林學及び林業に關する智識を併有する某氏と同行して花山森林に到り實地踏査を爲す。

▲**花山森林の面積** 森林の面積は今日迄實測せられたることなし、舊農商工部所管時代及び現李王職所管時代に於て同森林の面積を千三百町步と稱しつゝあるは一の假定に過ぎず、而れども右假定は專門家に於ても首肯したるものゝ由なれば實際測量の上と雖ども大差無かるべしと稱せらる。

▲**樹木の種類** 殆んど全部松樹にして間々モミを混ず、樹齡は百三十年を最古とし老幼樹混生す。

▲**立樹の假定數** 專門家の所見に因る立樹の假定數は一町步に付き四百本なり、右の割合を以て千三百町步に乘ずるときは同森林現在の立樹合計數は實に五十二萬本なり。

▲**同森林の價値** 同森林の價値は專門家と雖ども評價に苦しむところなるが、現在の相場尺〆七十錢として算するときは實に百萬圓以上なり。

▲**面積上の疑問** 前記の如く同森林の面積は千三百町步と假稱せらるれども、記者の踏査實見に因れば森林入口の石橋より濟馬臺に到る全面積は二千町步以上あるもの、如し、最も右は平面積なるを以て斜面積としては僅かに六千町步以上なるべしと信ぜらる。

▲**林中の伐材** 林中踏査中伐材の積重ねられたるを諸所に見受く、而して右伐材は從前農商工部に因つて拂下げられたるものと、水原農林學校が今回材見本として伐採したるものと、今回の拂下げ人田島某に因つて伐採せられたるものとの三種なり。

▲**花山と田島某關係** 花山森林中の枯損木二千五百本餘を價一千九十圓餘を以て拂下げを受けたるは田島彥四郎にして右拂下げ契約の調印せられたるは本年十月の十五日なり。之を聞く該枯損木を拂下ぐるに付き李王職は入札に因らずして指名契約を爲す、而して右田島某が何が故に指名を受けたるやは明かならず。

▲**全部拂下げは臆說** 現在世人の間に喧傳せらるゝ森林全部の拂下げなるものは臆說なり、然れども火の無きところに煙なきが如く、右臆說の起りたるに付ては顯著なる原因なきに非ず、其次第は次號に發表すべし。

●**今村事務官の東上** 總督府今村事務官は總督府文官定期昇級表携帶十一日夜若くは十二日朝東上すべしと云ふ

●**群山裡里間建築車** 湖南鐵道群山支線の鐵道工事は目下頻りに工程を急ぎつゝあるが豫定の如く群山裡里間は本月二十七日には建築列車を運轉せしむべしと

●**在監囚人の總數** 十一月末に於ける全道在監囚人の總數は九千四百四十八人にして前月に比し外國人に於て十三人を減したるも其他に於て合計百四十九人を增加したり而して此內受刑者は八千七百十八人刑事被告人は七百三十人なり當勞役場に留置しあるものは內地人男二人携帶乳兒內地人男二人、解人男女各七人なりと

●**金融組合貸出高** 京畿道に於ける十二地方金融組合十月中の貸出金は一萬二千余圓にして同月中の回收高は一萬七千余圓なり而して十月末現在總貸出金は九萬五千余圓なりと

●**江原の鰆漁狀況** 大阪市井上某外二名は九月中旬より江原道高城郡沿海に於て鰆漁を經營し福岡縣より六百余名の漁夫を雇入れ漁船三隻漁船百五十余隻を以て盛んに漁業中なるが十月中旬迄の漁獲高は鰆三萬尾一萬八千余圓に達し內地へ向け輸送販賣しつゝありと

公人私人

▲ヴイカーテス（英人鑛業家）九日山本[illegible]
▲水谷千萬吉（平壤鑛業所長）九日出發
▲松永勤三（近江帆布會社支配人）同上
▲萩谷籌夫（朝鮮新聞社長）十日出發仁川

▲京城手形交換高▼

十二月十一日 金額 一八一、七二八、六二〇 枚數 八[illegible]

▲茶袋▼

官革兩軍は又々十五日間の休戰をする事となつた。軈て注目されてをる我國始め一二列國の居中調停も或は此休戰期間に實現されるかも知れぬ▲ソコで我國の態度として吾輩の希望する所は我國はドコ迄も支那民族固有の地域を維持するを以て目的となし、官革兩軍の調停は必ずしも强いて其必成を期すべきに非ず、媾和の機運未だ熟せず妥協容易に成り難きものありとせば、敢て之を强ゆるに及ばず▲要は支那問題の決定に於て、我國は第一の關係者であるといふ事を明かにし、何時にても大活動を爲し得る餘地を十分に保留し他國をして間隙に乘ずるが如き事無を期するにあり此以上に干涉して壓迫を加ふる樣な事は斷じて不可である▲吾輩の度々云ふ事だが、支那內亂を好機とし名は革軍應援にあるも其實酒食の料をあさらんとする似而非浪人が南淸方面に押掛けるので、貴國も難有迷惑を感じてをるそうだ、獨り今日官軍援助の嫌疑を受けつゝある此等僞浪人のために彼と同じく嫌疑を招く樣な事ありては我國の名折である政府は宜しく注意を要する▲東京で開催の商議聯合大會も閉會となつた、鮮[illegible]稅撤廢問題の除くの外朝鮮關係の諸問題は、政府の財政緊縮方針に伴なひ、請願や建議を見合すことゝなつたとか、請願や建議必らずしも今直ぐに金を出して貰ふと云ふのではない、吾輩は朝鮮商議の代表者が何故此點に氣が附かなかつたかを不審とする。

國寶「花山森林」を視る（一）

天眞生

時予明治四十一年十月二日、故從一位大勳位公爵韓國統監伊藤博文閣下、時の韓國皇帝水原府花山に健、隆二陵を展せらるゝに隨ひ途鬱乎として天日を遮り蒼乎として大空に聳る花山大松樹森林を横り諸有司を顧み儼然として令して曰く『花山森林は朝鮮に於ける國寶なり』と、世々代々相傳へて敢て損傷を加ふる勿れとの意を以てせられきと

實に故藤公の言の如く花山森林は朝鮮に於ける國寶である、其所轄の何人の手に移るも國寶は到底國寶なり、枯損木の排除若は通氣の必要上よりする間伐は餘儀なしとするも此に依つて私利を企むが如きことある可らざるは一であらねばならぬ同森林も併合と同時に一時國有林に編入され總督府の所管に移つたが間もなく李家二陵所在地たるの故を以て本年度更らに李王家に下げ渡されてよりは李王職の所管となつた、と聞もない昨今李王職は同森林を十五萬圓を以て拂ひ下げたとの說が傳へられた、愕然として驚いたものは要するに吾曹のみであるまい、虛か實か、實か虛か、實地を探檢視察して以て事件の眞想を識らうと思ひ立つた、幸ひ日曜なるを利用した十日午前九時同行二人南大門驛發の南行列車に搭じて水原に向つて去つた、同じく水原迄の乘客には俵副總裁、菊地局長、林東拓理事あり太田行きには辯護士岡田榮氏あり列車の未だ進行せざるに岡田氏と相携へて食堂車を襲ふ、珈琲を命ずればボーイ曰く「未だ湯が沸きません」と中原式を發揮して昂然として澄して居る、吾曹革命黨たるもの何條默して止むべき『食堂車は何の爲めに付いて居るのだ湯が沸いてなければ沸かせ沸かせなければ食堂を閉ぢろ、朝飯を食はずに來たので腹が空つてるのだ何か食はせろ』正々堂々の論陣を張つてボーイを閉口させたは可いとして朝飯を食はずに來ただけは言はなくつても好かつた如に思はれた、併し其一句がボーイの心を動かしたと見へて珈琲、洋菓、林檎なぞが運ばれる所謂朝飯を食つて居ないのだから堪らない且つ食ひ且つ喫ふ、龍山驛を發して漢江は漢江上を徐行す麻浦の邊り水煙り立ち罩めて船呼ぶ聲は模糊の裡から聞ゆ、江未だ氷りせず溶々として金波を疊むで居る。（つゞく）

●盛なり長唄嗜好會（二）　納會

舞良狄衣

僕が驅け着けたのは七時チヨット過ぎて居たらうか『新聞記者席』と云ふのへ案内せられたが電信柱も立たぬ迄の大入斯うして見ると新聞記者も多いものだと思ひ乍ら見回すが一向に知つた方が無い、併し孰れにしても同じ武者揃黨かと思へば賴母しく少々た膝送りを願つて割込んだ時チヨチヨンの刻みで幕が開く正面に三越吳服店贈長唄嗜好會の後幕華美やかに見臺を前に三味を抱へて頭を下げたのは遠からん者は音に搦翠の江戸奴、同じ家の壽江が缺席の爲め舞臺に穴が明いては一大事と健氣にも彈き語り演題は淸元の『深山櫻及兼枝振』保名の狂亂である此れへに由つて是を觀ると長唄物の何かヤモウ一つ濟んだ跡らしい「戀よ戀よ」の出に難があつたが「狂ひ〳〵て遣りから辭が調ふて「あれ、あれを」から」いた顏せず腹立てず』の邊り極めて面白く聞かれたり『會殺ぬ程に』の邊で辭が痛んだらしかつたが『夜さの泊りは』から乙に持直した、江戸奴としては普通りの部であらう、一寸此所で私の『辭』に對する意見なるものを述べる淸元と云ふと粹な辭、粹な辭とは振り絲つた黄い聲、と云ふ樣に考へ違つた方がある如だ、細い音聲、澁る、と云ふのも無論意氣な聲なるもの、要素の一ではあるが全部ではないと云ふこと、淸元の粹なるは聲にあらずして節にあるのだから出ない聲を無理に絞つてタシナミのた宜しいた姬樣が聯に惱む如な顏までするには及ばぬと云ふことですが如何でしよう、鬱陶々々、仰せに及ばずモウ濟んで居るのですからねエヘン、扨幕間を利用して武者揃ひの連中の首實驗に取掛ると第一番に目についたのが高田商會出張所長の久保田君夫妻、甲の八幡座に贔屓者特の匂ふ所謂甲首だ、井門の奴が虎の皮か犬の皮かを首に卷いてチヨコンと座つたのが妙に眼を惹く、其背後に入院中の筈の中勞のた鯉が何とか片假名でなければ書けない霞網の如な顏風呂敷を襟に卷いて美しい顏を惜し氣も無く見せて居るので眼が其所で往來止を食つた、とチヨン木の頭で幕が開く、尺八の牛田君を上に伊壽江の三味、文之助の唄は鶴龜下方の無いのが殘念とも殘念、當夜の文之助は悲慘なる滑稽を演じて聲を痛めて居たのだ、悲慘なる滑稽とは何ぞやと問ふて下され話します、前數日來伊壽江の許即ち淸華亭に連中會合の聲調べあり文之助も大にヤンヤと云はれ如さの考へから聲の立つ何さやら云ふ藥を五六同もやつた、と思ひきや夫れがウガイ藥の醋酸加里なりしならんさは、止ん點る譯で右の始末の上にアノ尺八の高音に苛められ「鶴も羽袖をたをやかに」の邊で聲はカスレ初めたが流石に老功のサセル瑕も出さず芽出度けつた、尺八に對して又素人意見がある（つゞく）

●太神宮の御迷惑

▽得手勝手な仲買人の女房

仁川海岸町三丁目米豆取引所仲買人倉重悌介の女房は見よう見眞似で或日當た買たで大活動を行つて居たは結構だが若しも悌介からた前今度は負けたよ追敷金を出さねばいかぬ杯と云はれゝと大聲出して貴郎はマア女房の杢で作むのですかなさと狂ひ出すのに悌介程の者も證據を握られた弱身あれば泣寢入るが常なれば女房は未だ一回だも負けた事なく儲けた金が積り積りて一萬圓以上も出來たと云ふ處で女房古人の譬の如く金持と何とやらは溜る程汚ない銀行に預けて置ては利息が安いコンな事ではつまらないと新町の松葉貸店を初め市中の小料理店へ大部分を貸付けて高利を取り居るとか然るにても今回の變事で夫悌介が鐵窓の裏に呻吟する身と成ては流石は夫婦の好み或日太神宮に日參し祈願を懸け南無太神宮樣夫悌介は決して惡い事をする樣な方では有りません只だ商賣を熱心に勵みましてた金を儲けた譯でありますからドーぞ南無太神宮樣悌介の身は必ず無罪放免となるゝ樣守り奉ると一心不亂に祈願を懸け居るとは哀れながらさても無禮なり

●腸チブスは癒らぬか

總督府醫院 森安博士談

腸チブスに罹つた人は大概死ぬものであらうか？醫學上の智識を有たぬ多くの人々は直ぐと悲觀して了ふ樣に思はれるが隨分醫術の進步した今日其樣に容易に死ぬものでは無からう然し朝鮮では死亡率が內地に比して著しく多く思はれるので直接之れを取扱ふ先生方の意見を聽いて見た

患者の食事に就ては細心の注意を拂はねばならぬことで高熱の際には鷄卵さへも惡い唯流動性のものを與へる外はない當病院では第三週即はち熱の下降し初めてより五日目に鷄卵一個を與へソレより日毎に一個宛を增して六個迄與へ其後の經過により粥刺身等を與へる固形物を與ふることは嚴禁すべきことで之れを與ふると同時に熱度を高め腸出血をさへ起すことがある。

治療法として解熱劑を用ふることは惡い蓋し心臟に惡影響を及ばさゞる解熱劑がないからである患者の正經狀態にある時は心臟を丈夫にする方法を取れば必ず癒る餘病の併發したる場合にのみ症狀により適宜の投藥をすれば宜い血精注射は一部には認定され一部には反對の聲があつてチフテリーの如く一般に認定されて無い血精注射後の恐るべきはチブス菌が血液中に中和されて往々虛脫すること即はち手足が冷却し或は脈搏の止まる等のことがあるからである要するに熱と戰ふことなく自然の經過によつて愼重なる態度と細心なる注意とを拂へば世人の心配する如く恐るべきものでは無い。病中は無論のこと全快後二十日間は決して床より起すことなく絕對的に安靜を保たしめねばならぬ然らずんば重症に陷らしむるか全治迄に長時日を要する對話讀書等は直ちに精神に影響して熱を高める故に嚴禁すべきである モ一つ恢復期には非常に食慾が增進する此際注意を怠ると甚だ危險になる看護婦も當院に於ては傳染病室勤務は他に廻さずに一年二年と勤續させてあるから今日に於ては大分熟練した樣である尚當院四十三年の腸チブス患者統計は死亡二十プロセント全治七十六プロセント本年（一月より九月に至る）は死亡十九プロセント全治七十三プロセントです日本では秋から冬に流行するが朝鮮では夏から秋冬に流行するツマリ流行季が長いのです（完在文責記者）

●喜劇『女郎の自殺』

▽眞に受られて吃驚

九日午後十二時頃新町遊廓日曜樓に娼妓自殺未遂ありたる顚末を記さんに龍山漢江通り四丁目野口安太郎方雇人安井秀次郎（二八）は同樓娼妓七越事北イクノ（二六）を敵娼に馴染み九日の夜も十一時頃登樓し七越の部屋に入り最初は互に種々話し居たるが七越は歲末迫り小使錢の無心を云ふ可き考へにて秀次郎に向ひ實は私事當樓にて一番の前借持ち故世を悲觀して井戶に投身す可く決心せしも折り惡しく目的を遂せざれば不憫と思召し私の身を助けて下さいと云ひしに秀次郎氣早く夫れは有難い僕も內地に於て放蕩の結果朝鮮迄流れ來りしも思はしからぬより自殺せんと思ひ今日毒藥を買ひ來りし故共に情死す可しと懷中より毒藥を出したるより七越は氣絕せん許りに驚き帳場に斯くと告げ派出所へ急報せしより警官出張秀次郎は本署に引致し將來を訓戒し放免したりと

●官舍荒し就縛

岡山縣川上郡吹屋町千百二十八番戶生れ當時住所不定毛利勘（十九）は旭町大和町附近を荒し金品一千餘圓を竊取し尚私印盜用私書僞造行使詐欺取財並に橫領及家宅侵入罪を犯し居たる事南部署長野岸佐藤の三刑事に探知され去る八日夜旭町一丁目にて逮捕され目下取調中

●鮮人の餓死

竹園町一丁目に三十四五歲の鮮人餓死し居たるを警官發見し銅峴分署より京城府廳に引渡したり

●殺人犯人の處刑

奈良縣平民當時仁川花房町二丁目西井勘藏方同居土工和田鹿松（三六）が去月八日仁川築港場に於て東京生れ淸水晉雄と爭論の末所持せる洋刀を以て刺傷を負はしめ遂に死に致らしめし殺人被告事件は九日京城地方裁判所仁川支部に於て被告鹿藏を懲役五年に處す旨宣告さる

●唐子乘てらる

南大門外 川本啓作方雇人愛知縣人村西ヤス（三八）は去六日午後十一時頃旭町二丁目四十三番戶田中常吉方妻に私生子濟入當年三歲を帶にて網付けたるまゝ行衞を晦し居たるを南部署に捕はれ目下取調中

●催促した人を撲る

龍山櫻田町雜貨商武田某は十日櫻町百十五番戶櫻屋平田泉太郎より貸代金殘金五圓を請求せられたるを怒り毆打負傷せしめたる爲め告訴せられたりとは無法者哉

●教會堂でカーテン

南部美洞二十統一戶金哥方權錫洛（二二）は十日午後三時頃朝鮮聖公會々堂に忍び入りカーメンならぬ小豆色窓掛を竊取し取捕へらる

●仁川のボヤ

十日午後五時仁川山手町三丁目高味吉助方湯殿釜突より出火しアハヤ大事に至らんとせるを常設消防隊驅付直ちに消止む

●浮浪罪

東京市生れ岩井喜市（三九）は浮浪罪に因り南部署に拘留五日に即決

●演藝だより

▲歌舞伎座 歌玉一座十二日の代狂言は大久保一代記の內『一心太助』にして切は『梅の由兵衞』なりと

廣告

建物拂下公告

京城長谷川町德慶宮內
一、朝鮮式建物 二棟 二十六間
一、小門 二箇所
右賣却ス買受希望ノ者ハ十二月十二日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ會計局營繕課ノ揭示ヲ看ルヘシ
明治四十四年十二月十二日
朝鮮總督府

